

1. サイン計画・与件・これまでの経緯など

「長門湯本温泉観光まちづくり計画（平成28年8月 長門市）」サインに関する記載内容は下記のとおりである。

- ・サインの形状、素材、色彩、字体など統一感を感じられるデザインとする。
- ・わかりやすく飽きのこないデザインとする。
- ・色彩あるいは自然石や焼物の活用などで地域性の表現を検討する。
- ・地域性を表現するがゆえに安易で稚拙なモチーフの導入等がないよう注意する。
- ・情報更新への対応、破損時も短時間で設置できるような構成という観点にも配慮する。
- ・昨今ではカーナビやスマートフォンによる位置情報を利用するため、サインは必要最小限の設置とする。
- ・「案内サイン」→「誘導サイン」→「解説サイン」といった階層的なサインシステムの構築を図る。
- ・サインシステムをデザインする専門家の参画を検討する。

■既存サインについて
現状多種のサインが設置されているが、設置して間もないと思われるサインが多く、全てを新規デザインに更新することは経済的な観点から考えにくい。

↓
既存サインは基本的には現状維持とする。但し、整備区間にある案内サインのなかで情報更新が必要なもの、老朽化が激しいサインは撤去して新規サインを設置する。



平成29年度第3回推進会議（平成29年11月28日）サインに関する資料

平成29年度第3回推進会議において、既存サイン及び新規サインの考え方（主に歩行者系）について提示済み。

1) 既存サインの考え方

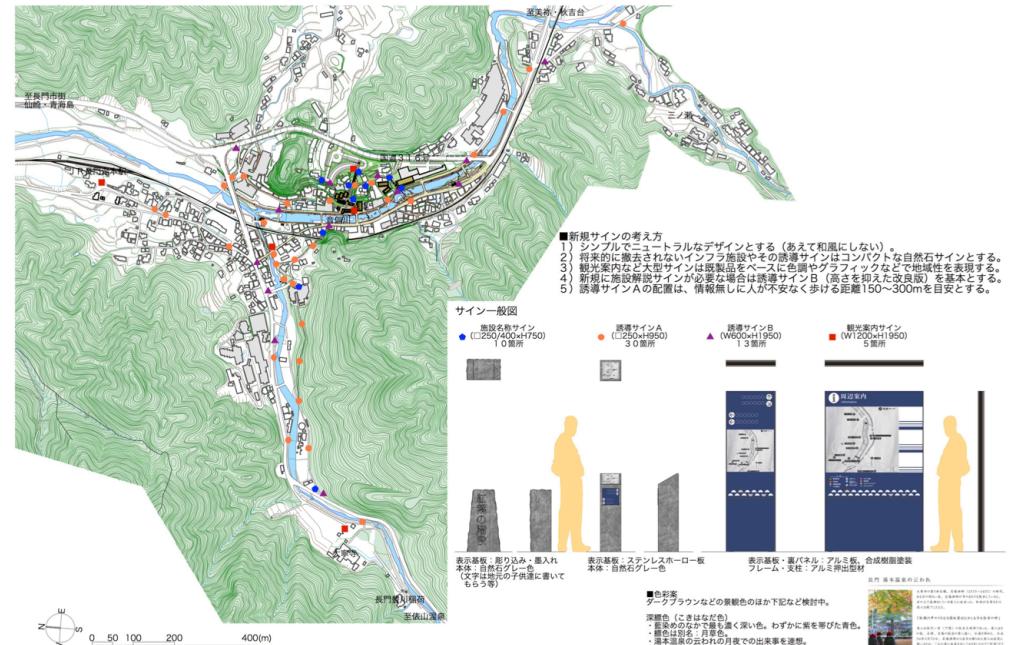
- ・現状多種のサインが設置されているが、設置して間もないと思われるサインが多く、全てを新規デザインに更新することは経済的な観点から考えにくい。
- ・よって、既存サインは基本的に現状維持とする。
- ・但し、整備区間にある案内サインのなかで情報更新が必要なもの、老朽化が激しいサインは撤去して新規サインを設置する。

2) 新規サインの考え方

- ・シンプルでニュートラルなデザインとする（あえて和風にしない）。
- ・観光案内など大型サインは既製品をベースに色調やグラフィックなどで地域性を表現する。
- ・施設の解説サインは他のサインと同じ製品の使用を基本とし、場所などにあわせて形状寸法や色を調整する。
- ・誘導サインはコンパクトなサイズを基本とし、情報無しに人が不安なく歩ける距離を目安とする（150～300m）。

今年度第1回推進会議では委員から下記のコメントがあがっている。

- ・サインは英語併記が望ましい（中国語や韓国語までは必要なく英語のみで良い）。



平成29年度第3回推進会議（平成29年11月28日）サインに関する資料

2. サイン「ロゴ＆マーク」デザイン案

- ・車輌系及び歩行者系サインの検討にあたり、基本となる「ロゴ」「マーク」のデザイン案を示す。
- ・「ロゴ」は、これまでの「湯本温泉」から新たに「長門湯本温泉」へと名称変更を行い、風情ある谷あいの温泉街でありながらも新たな一步を踏み出しあげることをふまえ、どこにもない新たなフォントによるデザインを提案する。
- ・「温泉マーク」は、昨年度の社会実験で軒先に展開された提灯で使用されたマークを用いる。
- ・サインの立地、形状、特徴などに応じて、「ヨコ」「タテ」「正方形」タイプを使用する。

「マーク＆ロゴ（タテ）」

「マーク＆ロゴ（ヨコ）」



「マーク＆ロゴ（正方形）」



3. 車両系サイン



1) 基本的な考え方

長門湯本温泉の魅力向上に必要な6つの要素のひとつ「回遊性（そぞろ歩き）」の実現には、温泉街中心エリアへの通過交通を排除し、幹線道路を利用して観光で訪れる車両を速やかに駐車場へと誘導することが求められる。尚、車両系サインの設置や表示内容については関係機関との協議を行う。

- ①駐車場への車両誘導は、センザキッチンや金子みすゞ記念館など市内観光地への車両誘導で既に展開されている道路標識を利用したサイン整備と同様の手法とすることが望ましい。
 - ・既存の標識や照明柱を活用することで、新規サイン設置によるポール類の乱立を防ぐ。また、整備費や維持管理費を抑制する。
 - ・「マーク＆ロゴ」各種タイプを展開してデザインの統一を図る。

- ②温泉街中心エリアでは、歩車共存道路であることを運転者に伝えるためのサインの設置を検討する。
 - ・景観配慮の観点からサインが乱立しないよう留意する。

- ③ハード整備とともにソフト対策として、カーナビやスマートフォンによる目的地や位置情報の追加修正を行い、車両が確実に新設される駐車場へ誘導されるようにする。



長門市内での道路標識等を活用した車両誘導サイン

3-1. 車両誘導サイン（車両系）：VA・VB・VC



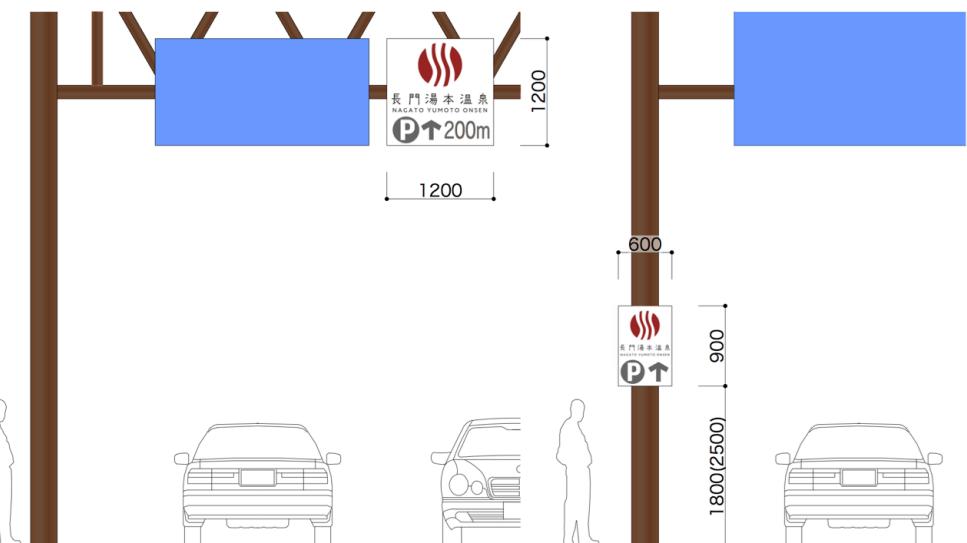
1) 表示する情報の考え方

- ①目的地となる「長門湯本温泉」のロゴと温泉マークを表示する。
- ②目的地の方向と距離を表示する。

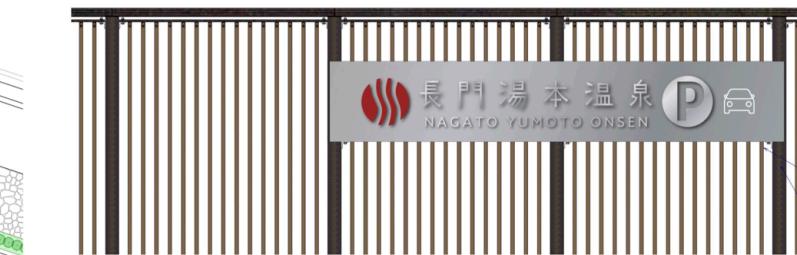
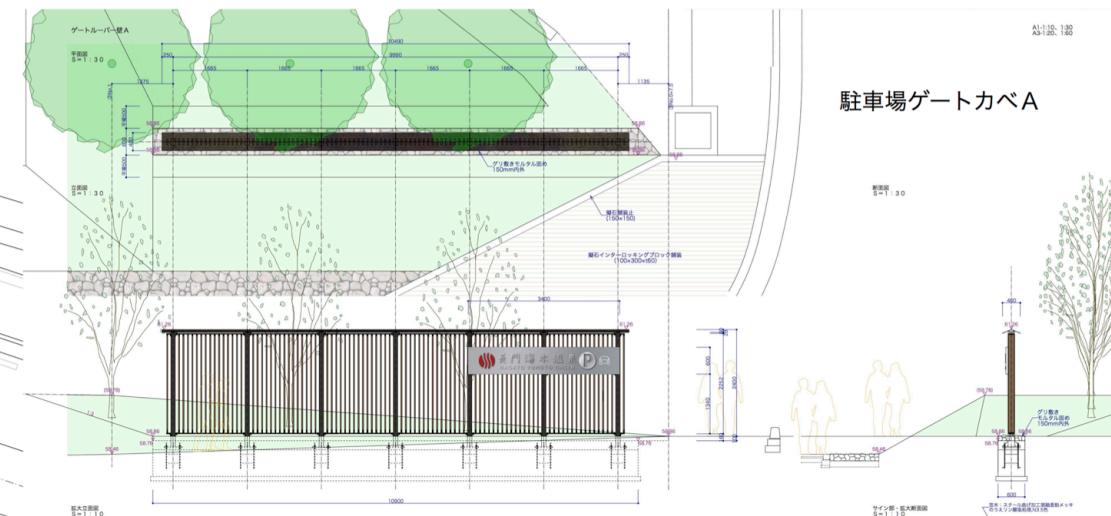
2) 配置の考え方

- ①既存の道路標識や道路照明柱にサイン板を添架することを基本とする。
- ②既存施設の活用については関係機関との協議を行う。
- ③既存施設の構造条件や運用条件などで設置が不可の場合は、新規ポールによるサイン板を配置する。
- ④過剰なサインの配置は避ける。

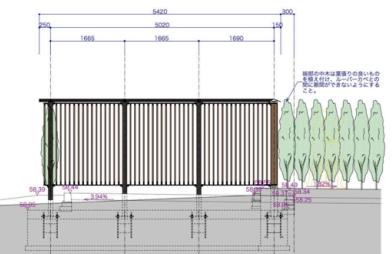
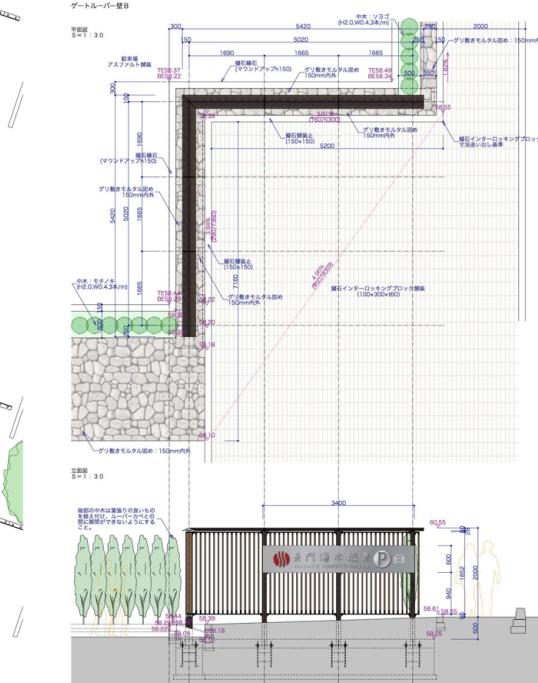
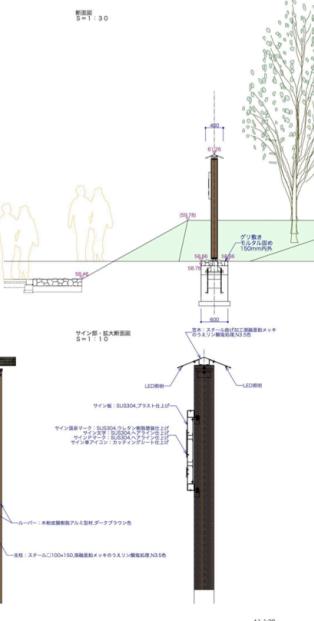
3) 車両誘導サイン本体のデザイン



3-1-1. 駐車場ゲートサイン



駐車場ゲートカベA



3-1-2. 長門市街地方面からの車両誘導サイン

- ・国道316号の既設標識類を利用



A1) 山村別館前



A2) 湯本交差点から北地点



A3) 板持交差点付近



A4) 板持交差点から北地点



「マーク&ロゴ（正方形）・P・矢印・距離」
既存門型標識に新規サイン板を設置



1200×1200 (形状寸法・要確認)



「マーク&ロゴ（正方形）・P・矢印・距離」
既存標識板の張替



1200×1200 (形状寸法・要確認)



「マーク&ロゴ（正方形）・矢印・距離」
既存F型標識に新規サイン板を設置



600×900
(形状寸法・要確認)



「マーク&ロゴ（正方形）・矢印・距離」
既存F型標識に新規サイン板を設置



600×900
(形状寸法・要確認)

3-1-3. 美祢方面からの車両誘導サイン

- ・国道316号の既設標識類、既設道路照明柱を利用。



B1) 駐車場ゲート南側
(google street viewより転載)



B2) 界長門予定地北側擁壁付近
(google street viewより転載)



B3) 界長門予定地付近
(google street viewより転載)



B5) 音信大橋南側
(google street viewより転載)



B6) 三ノ瀬踏切前



「マーク&ロゴ（正方形）・P・矢印」
既存照明柱に新規サイン板を設置



600x900
(形状寸法・要確認)



「マーク&ロゴ（正方形）・P・矢印」
既存照明柱に新規サイン板を設置
(B2～B4共通)



600x900
(形状寸法・要確認)



B4) 音信大橋北側
(google street viewより転載)



「マーク&ロゴ（正方形）・P・矢印」
既存照明柱に新規サイン板を設置



600x900
(形状寸法・要確認)



「マーク&ロゴ（正方形）」
既存標識板をの張替



1200x1200 (形状寸法・要確認)

3-1-4. 俵山方面からの車両誘導サイン

- ・県道34号線の既設標識類を利用



C1) 湯本大橋橋東側



C2) 湯本温泉バス停付近



「マーク＆ロゴ（正方形）・P・矢印」
既存F型標識に新規サイン板を設置



600×900
(形状寸法・要確認)



1200×1200 (形状寸法・要確認)